

平成28年度 学校評価報告書 (目標設定・**実施結果**)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (1月24日実施)	総合評価(3月16日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	①定時制総合学科、 単位制の仕組みを活 かした教育課程を提 供する。 ②生徒の学習ニーズ に応える多様で柔軟 な学習支援の充実を 図る。	①着実な履修指 導、単位修得指 導の推進を図 る。 ②授業のユニバ ーサルデザイン 化に向けて組織 的な授業改善を 図る。	①きめ細かな履修指導を 実施する。 ①系列科目の見直しを行 い、整備・充実を図る。 ②生徒が学習内容を実 感・確認できる授業を展 開するために、公開授業 や研究授業を実施する。	①未履修となった生 徒が減少したか。 ①生徒一人ひとりの 学習ニーズに応える 整備・充実が進んだ か。 ②公開授業や研究授 業を実施できたか。	①未履修となった 生徒の減少が見込 まれる。 ①新たな開講科目 を編成し、教育課 程の整備・充実が 進んだ。 ②他校の公開授業 に参加するととも に年次研修等の機 会を捉え研究授業 を実施した。	①個々の生徒の興味関 心や進路希望に応じた 履修指導の確立が必要 である。 ①系列科目の見直しを 継続して行い、更なる 教育課程の整備・充実 を図る。 ②校内において授業を 公開し、教職員間の理 解を深め、組織的な授 業改善を図る。	(学校評議員) ・充分、履修指導、学 習指導をなされている と思います。引き続 き、教職員の協力・連 携のもと、組織として 取り組まれることを期 待します。	①きめ細かな履修指導 により、未履修となっ た生徒が減少した。来 年度からの新たな学校 設定科目を編成するこ とができた。系列科目 の見直しを継続し、教 育課程の整備・充実を 図る。 ②研究授業を実施し、 授業改善の一助とする ことができた。研究授 業の回数を増やし、組 織的な授業改善を目指 す。	①生徒に身に付けさせ たい力を整理するとと もに、生徒の学習ニー ズを的確に把握し、教 育課程の整備・充実を 図る。 ②組織的な授業改善の ため、校内の研究授業 の充実を図る。
2 生徒指導・ 支援	生徒が安心して充実 した学校生活を送れ るよう、また、課題 を抱えた生徒一人ひ とりに応じた柔軟で きめ細かな支援の充 実を図る。	・インクルーシ ブ教育の推進を 図る。 ・ケース会議の 充実を図る。	・インクルーシブ教育の 研修会を実施する。 ・ケース会議開催ととも に、スクールカウンセラ ー(以下SC)を有効活 用する。	・研修会を実施し、 生徒支援の一助とな ったか。 ・ケース会議等の取 組が支援に必要な生 徒の指導に活かされ、 課題解決につながっ たか。	・研修会は実施で きななかったが、生 徒に関する情報交 換により理解が深 まった。 ・ケース会議等を実 施したことにより、 支援を必要とす る生徒に対し、 よりきめ細かな支 援がなされ、改善 に向かった。	・インクルーシブ教育 のあり方、取組につ いてさらに探究し、よ り良い教育環境の実 現に努める。 ・すべての生徒に対 し、より良い支援が できる方法を模索す る。	(学校評議員) ・個人情報絡むこと が多いため連携が難 しい面もあると思 います。 ・可能な限り連携を 図ることにより教 職員個々に過度の負 担がかからないよう に取り組んでいただ きたいと思 います。 ・SNSについての トラブル未然防止に 努めてほしい。	・ケース会議等にお ける生徒の実態把握 と個別教育計画をと おして、生徒一人ひ とりに応じたきめ細 かな支援ができた。 ・専門職及び外部機 関との連携の実態と 生徒個々の問題につ いて、すべての教員 が認識、理解できる ようにすることが課 題である。	・生徒の個別支援につ いて、グループの取 組みを可視化し、生 徒の問題を抱えてい る教員が相談しやす い環境づくりに努 める。
3 進路指導・ 支援	進路実現のためのキ ャリア教育を推進 し、社会生活実践力 の育成を図る。	生徒一人ひとりの ニーズに応じた進 路指導を図る。	・面談を通じて生徒一 人ひとりのニーズを 把握する。 ・進路だよりを発行し、 生徒に様々な進路情 報を提供する。	・進路未定者がどの 程度減少したか。	・学校斡旋による 就職内定者が6名 から11名に増加し 進路未定者が減少 した。 ・進路だよりを 23回発行した。	・インターンシップ や校外講座の参加者 を増やし、確実な職 業観・勤労観を養 い、進路選択に困 らないよう指導し ていく必要がある。	(学校評議員) ・インターンシップ や校外の講座を通 して、社会に出た ときに生徒自身が 自活できる術を身 に付けられるよう 、引き続き暖かい 指導をお願いいた します。	・進路だよりの活用 など、きめ細かな 進路指導を実践し、 進路未定者の減少 を達成できた。進 路選択に消極的な 生徒への対応が課 題である。	・引き続き、インター ンシップや校外講 座の参加率を増やし、 進路決定率の増加 を目指す。
4 地域等との 協働	学校外の機関と協 働・連携や外部人材 の活用により、地域 の教育力を活かした 学校づくりを進め る。	・就労支援のため 外部機関との協 働を図る。 ・保護者との連 携を図る。	・サポートステー ションとの協働を 図る。 ・まちcomi配 信を活用して保護 者へ学校行事等の 参加を呼びかける。	・サポートステー ションと協働でき たか。 ・保護者との連 携がどの程度でき たか。	・サポートステー ションと協働し全 生徒向けに外部講 師を招いて就労支 援プログラムを3 回実施した。 ・文化祭では後援 会役員を中心とし た保護者の積極 的な参加があった。	・引き続きサポ ートステーション との協働を行う とともに、ハロー ワークや川崎市、 地域の工業会と の連携を行う。 ・事後の役員会 では改善すべき 意見をいただき 、次年度へ申し 送りより良い ものにした	(学校評議員) ・生徒それぞれの 個人差が大きい なかで、いろ いろな取組みを なされている ように思 います。成果を 期待しま す。	・就労支援プログラ ムを3回実施でき た。支援が必要 であろうと思 われる生徒につ いて、生徒・保 護者が困って いないケース の対応が課 題である。 ・保護者との 連携は昨年 並みとなった。 しかし、まち comiに関し ては登録者に 限定される	・外部機関へどの ように繋ぐか 整理し、支 援の充実を 図る。 ・まちcomiに 代わる連絡 掲示板を開 設周知する ことではほ ぼすべての 保護者を 対象とした 情報提供が 可能となる

							い。		ため情報発信の効果も限定的で劇的な効果は得られなかった。	ため一層の効果が期待できる。
5	学校管理 学校運営	①安全教育、環境教育を推進し、安心安全な教育環境を構築する。 ②すべての職員の資質向上を図るとともに、風通しのよい職場づくりをめざし、教職員の事故不祥事を未然に防止する。	① 6 S 教育（※）を実践する。 ①防災体制の充実を図る。 ②教職員の事故不祥事防止に取り組む。	①授業や特別活動を通じて、6 S 教育を実践する。 ①避難訓練を通じて、防災教育を行う。 ②定期的に事故不祥事防止等の研修を行う。	①安全・安心な学校づくりに資するため、6 S 教育を実践できたか。 ①防災教育を実践できたか。 ②全職員で不祥事ゼロを実現できたか。	①授業や特別活動で6 S 教育を実践した。 ①非難訓練を実施し、生徒の防災意識を高めることができた。また、発電機や非常照明を使い、防災用の点検を行った。 ②全職員で不祥事ゼロを実現できた。	①引き続き6 S 教育を実践する。 ①引き続き防災教育を継続する。 ②引き続き全職員で不祥事ゼロを実現する。	(学校評議員) ・定期的な避難訓練を通じて、生徒自身が自身の安全を図ろうとする意識を育むよう先生方のご指導をお願いいたします。	①授業や特別活動で6 S 教育を実践できた。 ①防災意識を高めることができた。 ②全職員で不祥事ゼロを実現できた。	①引き続きあらゆる機会を捉え6 S 教育を実践し、生徒の安全な学校教育を実現する。 ①引き続き防災教育を定期的実施していく。 ②事故防止会議を定期的開催し、引き続き全職員で不祥事ゼロを実現する。

※ 6 S 教育・・・安全・環境教育の推進に資するため、6 S 「整理、整頓、清潔、清掃、躰、セイフティ（安全）」運動を展開する。